



式年造替をひかえて

春日大社 宮司

花山院 弘匡



今わが国は東日本大震災、奥吉野・熊野大水害という未曾有の国難に見舞われ、誰しも被災地の安全と1日も早い復興をと願っております。

創建以来、日々国家の安泰と国民の平安の祈りが捧げられ、大難の折には特別な祈願が行われてきた当社におきましても、震災直後より被災地の安全と復興を願い、特別祈願祭を執行、併せて神職・職員・ご参拝の皆さま共々大祓詞での万度祓を厳修してまいりました。しかしまだまだ復興とは程遠い状況にあるため、更なる大神様のご加護を願い、今も全社挙げて復興祈願・大祓奏上奉仕を行っております。

このような重大時期ではありますが、当社では20年毎という定まった期日に従い、平成28年の御本殿修理完成に向け、現在各ご社殿の修理を取り進めております。

過去59回、どのような状況においてもこの御造替を成し遂げ、大神様の御神威の高揚に尽くしてこられた先人、ご祖先の心情、努力に、今改めて思いを致すところであり、またこのような困難な時こそ、日本の原点に立ち返るべく60回目となる今次御造替事業を遺漏なく執り行うことが、今我々の責務であると痛感するところであります。

つきましては、どうか本事業の趣旨をお汲み取りいただき、格別のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

